



校長 有阪 奈保子



77期の卒業生

発行所  
 清泉小学校  
 いずみ編集部  
 (昭和48年11月創刊)  
 〒248-0005  
 鎌倉市雪ノ下3-11-45

七十七期八十八名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。清泉小学校で過ごした日々が色鮮やかに一人ひとりの脳裏に蘇っているのではないのでしょうか。笑顔いっぱいになったあの時、達成感で胸いっぱいになったあの行事、悲しくて涙した日のこと、いろんなことが思い出されていることでしょうか。様々な経験は、これから生きる皆さんの大きな力となって、それぞれの進む道をさらに豊かなものにしてくれると強く信じています。

二〇一八年四月十日の七十七期入学式は、春の日差しが注がれる穏やかな日でした。真新しい制服を着た皆さんはとも小さくて、七十二期生が一生懸命、朝の仕度のお手伝いをしていたことが思い出されます。その年の歓迎会で披露された劇「ごろりんごろんころろろ」を、同じように昨春八十二期生のために一生懸命準備し、本番で一年生皆を笑顔にした姿を見て、あの頃の皆さんの笑顔と重なり大変感慨深く、まさに清泉の御恩送りを実感しました。最上級生としてこの一年間、七十七期生らしく温かい心を差し出し、下級生一人ひとりのために役目を果たされ、次の七十八期生にバトンをしっかりと渡してくださいました。本当にありがとうございました。

十二月に皆さんと面接をした際、この六年間の思い出が一番多く挙がったのが秋の集いでの「六年生クラス対抗リレー」でした。クラスのために精一杯力を出し尽くし、勝つても負けても悔いはなかったこと、クラスの団結力が強まったことを話されていた。仲間と共に一つの目標に向かって作り上げていくことの楽しさ、充実感、達成感を味わったことでしょうか。行事を終えるたびに成長し、学年の絆を深められていました。また面接で思い出に残ったことに修学旅行も挙げていました。昨年五月に新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、行動制限が大きく緩和された直後の修学旅行でした。お友だちと近距離でおしゃべりしたり見学したり食事をしたりできたことが、大きな思い出となったのでしょうか。コロナによる感染拡大で思うように学校生活が行えず、マスクを外せない困難の日々を送りましたが、当たり前前の日常がどれだけありがたかということを実感されたと思います。

清泉小学校を旅立つ時が来ました。共に学び励みあった七十七期の仲間とお別れになります。「お友だちを大切に」の心を忘れず、この先険しい道にあっても、神さまはいつも共におられることをしっかりと心に留め、勇気を持って進んで行ってください。神さまからいただいている自分の内にある宝物に気づいてそれを磨き、惜しみなくその力を発揮し、周りの方々のために喜んで働く人になってください。

一人ひとりのこれから歩まれる道の上に、神さまのお恵みが豊かに注がれますように、心よりお祈りしています。



72期のお姉さまとお庭で“はないちもんめ”



校長先生と修学旅行に出発



### 贈る言葉

～先生方からのメッセージ～

#### 灯のように

六年ベトレム組担任

宇敷 栄由

皆さんと出会った四月。一人ひとりの輝いていた目を今でも覚えてます。素直で、どんな時も誰かのために動くことができるのが七十七期でした。灯のように穏やかで、温かな心を

持った皆さんと過ごした一年は、私にとってかけがえのない宝物です。何気ない日常の瞬間がとも輝いていた時間でした。本当にありがとうございます。

これからの新しい世界で、大きな壁にぶつかることもあることでしょう。そうした時に、いつも自分の居場所が心を支えて

です。これからの人生で楽しい時もうれしい時も。きつと、悲しい時も、悔しい時もあることでしょう。様々なことに挑戦しながらも、空をフツと眺められるような「心のゆとり」を大切にできるといいですね。空は、みんなと繋がっています。これからも清泉小学校で出会ったすべ

#### 天までとどけ、

一、二、三。

六年ナザレト組担任

白川 和志

これは、一年生の教科書に掲載されている『くじらぐも』の一文です。一年生の時に勉強をしたのを覚えていますか？ちなみに、私はこのお話が大好き

#### ともしび

六年バレスチナ組担任

根本 俊彦

学年通信のタイトル「ともしび」。皆さんが入学してきた時に、学年の先生と七十七期にふさわしいタイトルについて考えたことを、昨日のことのように思い出します。

七十七期生の良さを表す言葉として、「団結力」という言葉を選びます。なぜなら、七十七期の皆さんは、一つの目標に向

くれるはずですよ。清泉小学校が、皆さんの居場所の一つであり、始まりです。ここからは、自分の力と魅力で新しい居場所を見つけ、新しい自分に出会うことでしょう。成長していく皆さんの姿を楽しみにしています。

神さまが繋いでくださった七十七期の皆さん一人ひとりとご縁に、心から感謝しています。ご卒業、おめでとうございます。遠くからずっと皆さんを応援しています。

の方に感謝の気持ちをもって過ごしてください。七十七期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さまにもお祝い申し上げます。私は皆さんと出会うことができたことに大変感謝しています。六年生の担任として卒業まで見届けることができたのは、私の人生の中の宝物です。

の人の心を温かくする「ともしび」であり続けてください。ご卒業おめでとうございます。

かつて、自然にお友だちと手を取り合い、最後までやりぬくことができるところです。この素敵な力が発揮されるのは、一人ひとりに互いを思いやり他者を尊重する温かな姿勢があるからでしょう。お友だちや下級生のために、真心込めて行動する姿は、ともしびのような温もりのある光となって、いつも周りの人の心を明るく照らしていました。

七十七期生と四年間を一緒にすることができたのは、何よりの喜びです。これからも、周り



### 泉会

会長 橋野 吉秀

七十七期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。清泉小学校の先生方と過ごされた六年間は、様々な学びや経験をし、思い出多き生活であったと思います。そしてこの小学校生活で立派に成長されましたね、自信を持つ

### 後援会

会長 玉井 哲雄

七十七期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。後援会会長としてお慶び申し上げます。また、ご家族の方々にも、心よりお祝い申し上げます。

清泉小学校の後援会は、卒業生のご父母が清泉小学校を見守り支える会として、一九七三年に発足し、昨年ちょうど五十周年を迎えました。新たに七十七期の卒業生の保護者の方々をお迎えし、次の五十年に踏み出したところです。

皆さんにとって小学校生活は、新型コロナウイルスの影響で大変な時期だったと思います。授業も行事も、

て中学校に進学されてください。清泉小学校で学んだ「利他の心」「感謝の心」そして「お友だちを大切に」という教えと、凡事徹底という言葉通り、学校生活で身につけられた、礼儀作法、身の回りのことをきちんと行う習慣をこれからも大切に実行し、魅力ある素敵な人に成長されることを願っております。

保護者の皆さま、お子さまのご卒業、心よりお慶び申し上げます。また、六年間、鎌倉泉会にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。この紙面をお借りして深く御礼申し上げますとともに、お子さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

## 卒業生の皆さまへ

通常とは違う形を取らなければならぬところがありませんが、先生方や関係者の方々のご尽力と、ご家族の愛情とご協力によって、無事六年間の勉学を終えられたことは、まことに喜ばしいことです。

卒業される皆さんやそのご家族には、むしろこれからの方が後援会とのつながりが強くなるかもしれません。今後の後援会の活動にご協力いただければと切にお願い申し上げます。

清泉小学校で学んだこと、得られた力を大切にしながら、自分の手で自分の生きる道を切り開き、社会にも役立つ人になり、成長してください。

### 清泉小学校後援会

五十周年

### 記念誌公開のお知らせ

清泉小学校後援会は二〇二三年に五十周年を迎えました。それを記念して、これまでの歩みを振り返る文書を集編編集いたしました。

清泉小学校のホームページからリンクされます。パスワードで保護しています。パスワードはそのリンク先からご請求ください。

清泉小学校のホームページからリンクされます。パスワードで保護しています。パスワードはそのリンク先からご請求ください。



# 随筆

卒業生の保護者から

## 経験を自信に変えて 小森まどか

多くの祝福を頂き、娘が清泉小学校に入学して早六年。お友だちと切磋琢磨しながら学び合い、先生方の大きな愛情に守られて過ごした日々の全てが糧となり、今、娘の中で十色に輝いているのを感じます。

私たちはこの六年の間に、自然災害や戦争など大きな世の中の状況変化に何度も直面しました。特に、コロナ感染予防による休校は、皆にとって多大なストレス・試練となりました。

改めて当時を思い返してみますと、子どもたちは不安を感じる日々の中でも、逆境をも押し返すような強さがありました。先の見えない日々も落ち着いて前を向き、時には逆境をも楽しみ、歩み続けてくれたように思います。皆が一人ひとり「自らが置かれた環境を受け入れ、そこで尽くせる最善を考えて行動する」を実践していた様子は間違いなく寛容さと力強さを兼ね備えた人の姿でした。神さまは「七十七期のタレント」としてどんな困難も乗り越えられる力をお与えになり、清泉小学校の教育を通して根付かせてくださったと思うのです。

卒業後も、きつと七十七期の子どもたちは自分らしい道を切り拓いて進んでいけると信じております。

七十七期の皆さま、先生方ご家族の皆さまに心より感謝し、また皆さまがこの先も平和な世界で笑って過ごせますようお祈りいたします。



朝の祈りで始まる一日

### 花

#### 大沼淑恵

長女の入学から十二年間お世話になった清泉小学校は、娘の成長の場であると同時に、親としての学びの場でもありました。

入学の際に出合った「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。自分が置かれた場所で、諦めずに最善を尽くして、力強く自分らしい花を咲かせればよい。それが、自分や周りの人をも幸せにできるというその言葉には、学校の精神に触れるものを感じました。

子どもたちは東日本大震災の年に生を享け、コロナ禍における計り知れないほどの不安と葛藤を乗り越えて来ました。それができたのは、ご家庭で深い愛を受け、友と励まし合い、温かく包容して下さる清泉小学校

の日々があったからではないでしょうか。困難でも最後まで諦めずやり遂げる力、他者を思いやる気持ち、学校生活や行事を通して培われたこの心の学びは、揺るぎない心の礎となってきたのだと思います。

ここで出会い、多くの学びと力を蓄えた子どもたちは、新しい場所ですらに上へと力強く茎を伸ばし、葉を増やし、いつか私たちが驚くような立派で美しい花を咲かせてくれるでしょう。その時の子どもたちの未来が、どうか平和で笑顔で溢れていますよう祈ります。

これまで長い間、深いご慈愛を持ってお導きいただきました皆さまに心より感謝申し上げます。また、共に歩んでくださった七十七期の保護者の皆さま、ありがとうございます。



お庭で育てたキュウリ

## ともしがを紡いで 宮崎 満穂子

長女の入学からお世話になった八年間、次女と共に清泉小学校を巣立つ時が近づいて参りました。入学当初、校長先生が「学校は失敗する場所」とお話しくださいました。娘も色々な壁にぶつかる時がありました。そ

の都度、先生方の温かいお導きによって乗り越え、学校が安心できる居場所となり、引つ込み思案な娘も少しずつ失敗を恐れず挑戦する逞しさが備わるようになりました。そして、目標を成し遂げた時の達成感、お友だちと協力して何かを作り上げた時の喜びを分かち合うことの尊さを実感しながら過ごすことができたと感じます。神さまの御心と共に、先生方の惜しみない愛情やお友だちの存在が娘にとって「ともしが」となり、心豊かな学校生活となりました。

これからは、清泉小学校で大切に学んだ「お友だちを大切に」をより広い意味で捉え、考えていくこととなるでしょう。ここで学び感じてきたことを礎として、身近な所や社会の様々な場所・局面で人々の気持ちに寄り添い、足元を照らせる「ともしが」として歩んでいくことと信じております。

最後になりましたが、校長先生をはじめとした先生方、シスター、保護者の皆さまに感謝申し上げますと共に、六年間共に過ごした卒業生の皆さまが神さまのお恵みに満ち溢れた人生を歩まれることをお祈り申し上げます。



いつも見守ってくださるイエスさま

**入学式**

リリーちゃん

マリアちゃん

**秋の集い**

**77期 思い出アルバム**

今日から1年生

みんなでお世話したモルモット

**2年**

そうごう

**3年**

鎌倉校舎で行われた秋の集い

キララちゃん

**4年**

前校長の大西先生が来てくださいました

**5年**

受胎告知の場面

**6年**

楽しいお土産選び

**山の学校**

**修学旅行**

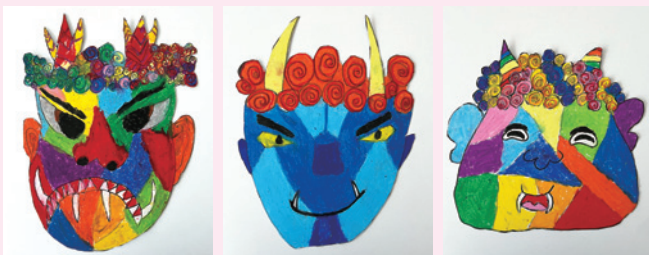




四年生 書道



一年生 節分の鬼のお面



児童の作品

六年生 美術 卒業制作



講堂入り口に設置されています

二年生 ニワトリの立体作品



三年生 鎌倉調べ



劇で使用する手作り甲冑

～刀鍛冶体験～ 五寸釘を加工したペーパーナイフ

五年生 家庭科



鎌倉大仏

卒業記念品

七十七期卒業生保護者の皆さまより次のお品をいただきました。

・学校校章旗 一式

これまで使用してきた学校校章旗は、十九期生からいただいたもので、なんと六十年近く卒業式や大切な行事の際に掲げてまいりました。今回頂戴した学校校章旗は七十七期卒業式より使用し、今後また何十年も学校と共に大事な節目を見守ってくれることと思います。心より御礼申し上げます。

大切に使用させていただきます。(有阪 奈保子)



「自然教室だより」

自然教室の草花たちが春を告げています。

せていました。

ひょうたん池のユキヤナギは、一月から小さな花を咲かせ始め、今では枝一面に美しい白い花を咲かせています。まるで雪が降り積もったかのようで、ひときわ目を引く美しさです。二月には、河津桜も花を咲か

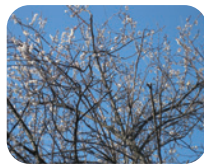
白梅は、まだ寒さが残る中で、凛と咲きほこっています。鮮やかで上品な白い花が特徴的で、甘い香りとともに、春の訪れを知らせてくれます。たくさん草花が、子どもたちの門出をお祝いしているようです。(太田 讓)



ユキヤナギ



河津桜



白梅

お知らせ

- 卒業式 四月九日(火)
- 入学式 四月十日(水)
- のぞみ会 五月二十一日(火)
- 六月二十五日(火)
- 九月二十四日(火)
- 十一月十二日(火)
- 十二月三日(火)
- 一月十四日(火)
- 二月四日(火)